

ヘルプマークをご存じですか？

援助や配慮が必要な方のためのマークです。
このマークを見かけたら、思いやりのある行動をお願いします。

♥ 配付場所

帯広市役所 1階 障害福祉課
帯広市保健福祉センター 1階 障害者生活支援センター
1階 子育て支援課

※窓口にお越しいただく際、障害者手帳などの提示は必要ありません。
※ヘルプマークの趣旨に沿った適正な利用をお願いします。



♥ ヘルプマークとは

周りの方々に援助や配慮が必要なことを知らせることができるマークです。

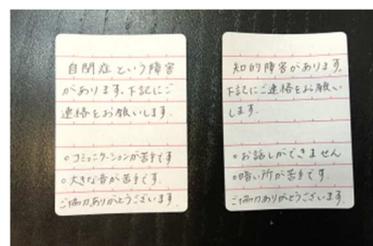
- ・義足や人工関節を使用している方
- ・内部障害や難病の方
- ・妊娠初期の方
- ・認知症の方
- ・その他援助や配慮を必要とする方



▲鞆などにつけられます。



▲裏面にシールを貼り、必要な支援を書くことができます。



♥ ヘルプマークを見かけたら

電車・バスの中で席をお譲りください

外見では健康に見えても、疲れやすかったり、同じ姿勢を保つことが難しい方がいます。
また、援助や配慮を必要としていることが外見から分からないため、優先席や専用席に座っていると、不審な目で見られるなどストレスを受けることがあります。

駅や商業施設で声をかけるなどの配慮をお願いします

交通機関の事故など、突然起きたことや急な変化に対応することが難しい方や、立ち上がる、歩く、階段を昇り降りするなどの動作が難しい方がいます。

災害時は、安全に避難するための支援をお願いします

障害などにより状況を理解することが難しい方、自力での避難が難しい方がいます。

♥事例紹介

①義足や人工関節を使っている方

外見からは分かりづらいため、優先席に座っていると注意されることがあったが、ヘルプマークを付けることで、周りの理解が深まり、とても気が楽になった。

②聴覚障害のある方

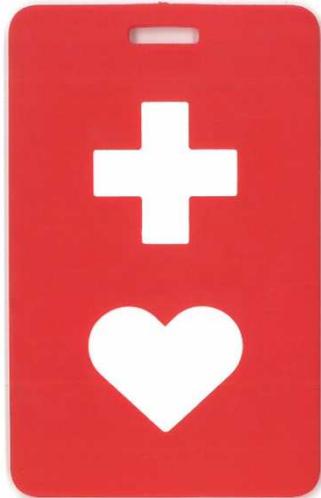
お店で、シールに「聞こえないので筆談をお願いします」と書いたヘルプマークを見せると、すぐ分かってもらってありがたかった。

③発作で倒れた経験のある方

ヘルプマーク(シール)に緊急連絡先の電話番号を書いておいたため、発作で倒れたときに、救急隊員が気づいて、一命を取り留めることができた。

④知的障害のあるお子さん

駅で迷子になった際に、駅員がヘルプマークに気づき、声かけしながら見守ってくれた。



わたし みな しえん ひつよう 私は皆さんの支援が必要です。
かき れんらく 下記に連絡してください。
わたし なまえ 私の名前
れんらくさき でんわ 連絡先の電話①
よ ひと なまえ 呼んでほしい人の名前
れんらくさき でんわ 連絡先の電話②
よ ひと なまえ 呼んでほしい人の名前

(ヘルプマーク付属のシール)

♥ヘルプカードとは

緊急連絡先や必要な支援内容などを書くことができ、日常場面で困ったとき、緊急時、災害時などに、周りの援助や配慮をお願いしやすくするカードです。

※ヘルプカードには、個人情報を書く箇所が多いため、取扱いには十分気をつけてください。

※使用にあたり手続きは必要ありません。ダウンロードし、ご自身で印刷してご利用ください。

♥お問合せ先

帯広市市民福祉部福祉支援室障害福祉課

電話：0155-65-4147 FAX：0155-23-0163

